

TRIZ 普及リーダをサポートする会議ツールの開発

～ 9windows(新製品アイデア会議用)ボード ～

石井力重 (アイデアプラント)

概要

宮城 TRIZ 研究会 (以下、当会) は、地域の企業と産業支援専門家むけに、公開型の TRIZ 研究会を実施した。毎回、TRIZ の技法 1 つを紹介し、アイデア創出を実践した。大半の参加者は、技法の基本的な理解と活用ができた。その後、何名かの参加者は、自社のアイデア会議の際に TRIZ を活用した。その際に彼らが体験した苦労には共通点があった。そこで当会は、TRIZ に不慣れなリーダでも会議運営時に、TRIZ を活用がしやすくなるような会議ツールの開発に取り組んだ。試作とテスト使用を繰り返し、理想形を模索した。最終的には、最も要望の多かった 9windows をデザインしたホワイトボード状のツールとなった。本発表では、その実物と、アンケート調査の結果を報告したい。

内容説明

1. 開発の背景 「TRIZ を社内のアイデア会議に使いたい、という声に応えたい」

当会は、「せんだいコーディネータ協議会」の要請を受けて、公開型の TRIZ 分科会を 5 回にわたり実施した。

構成：TRIZ 技法の座学 (15～30 分)
+アイデア創出の実践 (60 分～90 分)

技法：第 1 回「発明原理」(智慧カード)
第 2 回「技術の進化トレンド」
第 3 回「理想解」
第 4 回「属性分析」
第 5 回「9windows (9 画面法)」

参加者：企業 (経営者、開発部等)
公的機関 (産業支援の専門家、技術移転者等)
累計 50 名

時期：2008 年 7 月～12 月

参加者は、企業の開発部門トップの方も多かったため、参加後に社内のアイデア会議などで技法の活用を試みたとの報告が複数あった。一般に、TRIZ の知識のないメンバーで TRIZ 技法を用いたアイデア創出会議を行うことは苦労が多いがこの場合もそうであった。TRIZ 初学者である彼らが、どのようにすると効果的にアイデア会議で TRIZ を活用できるのか、要望や課題をヒアリングした。

2. ツールの内容「9windows のホワイトボード」

TRIZ 普及リーダたちからのヒアリングの内容をもとに「会議ツール」の企画・制作を試みることにした。その結果、ホワイトボード状のものに 9windows をベースにした発想フレームワークを刷り込んだものが有力な候補となった。

試作とテスト使用を繰り返し、理想形を模索した。最終的には、9windows をデザインしたホワイトボード状のアイデア会議専用の会議ツールとなった。



—ツールの活用イメージ—

3. ツールの効果 「TRIZ の初心者が、アイデア会議を実践する道具になりえるか」

試作したツールを用いてその有効性をアンケート調査した。シンポジウムでは、その集計結果と分析内容を報告する。